

■熱中症の予防を徹底しましょう!

職場における熱中症による全国の死亡者数は、平成 22 年は猛暑の影響を受け、47人(建設業 17 人、製造業 9 人、農業 6 人、運送業 2 人、警備業 2 人、林業 1 人、その他 10 人)となっており、21年と比べて 39 人増加しました。

本年 5 月 25 日に発表された気象庁の 3 か月予報によると、6 月から 8 月の西日本の平均気温は「平年並み又は高い確率はともに 40%」とされ、今年も平年より暑くなる可能性を示しています。

熱中症による過去 3 年の死亡災害をみると、全体の約 4 割が作業開始から 7 日目以内に発生しています。発生月別でみると、そのピークは 7 月から 8 月ですが、6 月においても発生しています。早めの熱中症対策を講じることが大切です。

熱中症を予防するために、作業環境の温度低減、労働者の休憩場所の整備、作業時間の短縮、水分・塩分の摂取、透湿性及び通気性の良い服装の着用、労働者への熱中症に関する教育等の対策を徹底するとともに、作業前の労働者の健康状況の確認、作業開始後の作業状況の確認も行いましょう。

また、睡眠不足、体調不良、前日等の飲酒、朝食の未摂取、感冒等による発熱、下痢等による脱水等は熱中症の発症に影響を与えるおそれがあります。自らの体調管理にも気をつけましょう。

【詳しくは「厚生労働省の報道発表資料」をご覧ください。】

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001dwae.html>

